

伝国の杜だより

Autumn 2015
Vol.28

特別展

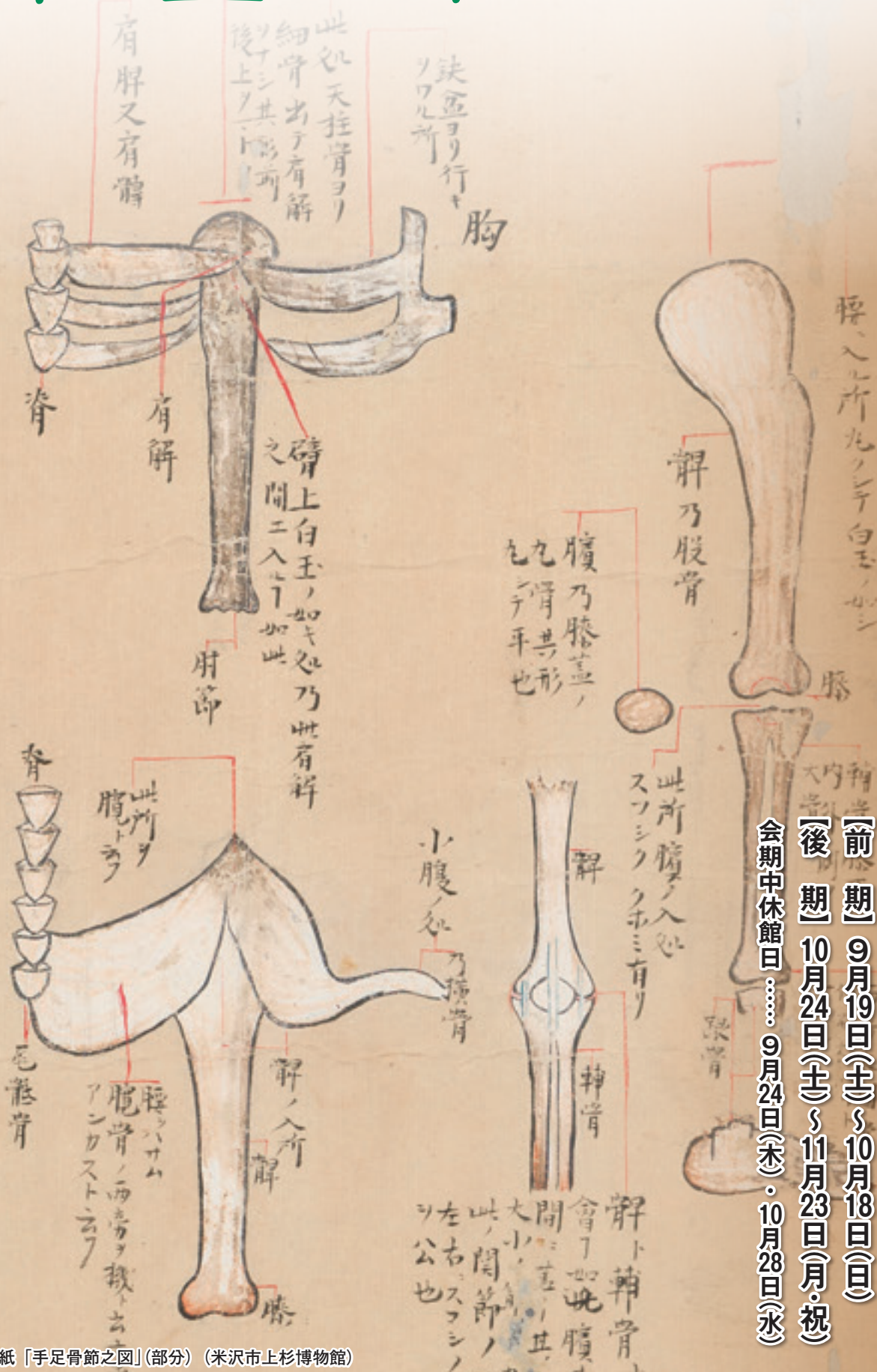
米沢藩
医家の系譜

堀内家文書を中心に

【前期】9月19日(土)～10月18日(日)

【後期】10月24日(土)～11月23日(月・祝)

会期中休館日……9月24日(木)・10月28日(水)



表紙「手足骨節之図」(部分) (米沢市上杉博物館)

刀剣特別展示／「五虎退」・「姫鶴一文字」

9月1日(火)~10月27日(火)

詳細は2ページへ

特別展

「米沢藩 医家の系譜」

～堀内家文書を中心に～

前期 9月19日(土)～10月18日(日)

後期 10月24日(土)～11月23日(月・祝)

展示替 10月19日(月)～10月23日(金)

休館日 9月24日(木)、10月28日(水)

一般 620円(490円) 高大生 400円(320円) 小中生 250円(200円)

※()は20名以上の団体料金

※常設展示室と一体型ですので、この金額で全館ご覧いただけます。

米沢藩では初代藩主上杉景勝以来医学に関心が高く、関連の書籍を収集保管していました。とりわけ、9代藩主上杉鷹山によって寛政5年(1793)に医学校・好生堂が建てられ、医学を積極的に学び、医師養成などに寄与しました。好生堂は文化3年(1806)には藩校興譲館構内に移されました。興譲館の設立とともに優秀な学生の江戸勤学の制度が整い、この制度はやがて医学生にも広げられ、堀内忠明(医家四代)が杉田玄白・大槻玄沢に師事すると医学生の江戸勤学が盛んとなり、藩医の子弟に限らず、自費でも江戸・大坂・京都・長崎といった医学先進地への留学が活発となっていきました。

本展覧会では、医学の発展に貢献した米沢藩の医家について紹介し、江戸時代の医学と米沢藩の実態に迫ります。

11月3日(火・祝)
東北文化の日
入館無料

主な展示資料



痘證鑑訂(部分) / 米沢市上杉博物館蔵



矢尾板家伝来 薬箱 / 矢尾板操氏蔵

伊東昇迪 眼科手術道具 / シーボルト記念館蔵
山形県指定文化財 紙本著色人体解剖図巻 / 山形市蔵

他

関連事業

- ◆講演会(前期) 9/19(土)14:00～16:00
織田毅氏(シーボルト記念館館長)「シーボルトと伊東昇迪」
- 講演会(後期) 11/7(土)14:00～16:00
海原亮氏(住友史料館主任研究員)「好生堂と米沢藩の医学教育」
いずれも伝国の杜2階大会議室 聴講無料(先着120名)
- ◆ギャラリートーク(展示解説) 毎回14:00～
10/10(土) 角屋由美子(米沢市上杉博物館学芸員)「上杉鷹山の医学奨励」
10/17(土) 北村正敏氏(米沢市立病院副院長)「堀内素堂『幼幼精義』の出版」
10/24(土) 渡辺理絵氏(山形大学准教授)「天然痘との闘い」
11/14(土) 角屋由美子(米沢市上杉博物館学芸員)「米沢藩、医学の興隆」
いずれも要特別展入館料、申し込みは不要。

企画展

「生誕100年 浜田浜雄展 ～造形の遊戯場～」

2015年12月5日(土)～2016年1月24日(日)

休館日: 毎週月曜日(祝日の場合翌日) 年末12月26日(土)～31日(木)

一般 410(320)円 高大生 300(240)円 小中生 200(160)円

米沢市出身の浜田浜雄(1915～1994)は、帝国美術学校(現武蔵野美術大学)在学時代、シュルレアリスムの思想に強く傾倒した絵画を制作しました。戦後はデザインの分野へと活動の幅を広げ、イラストレーター・デザイナーとして広告やデザインの仕事を多数行います。また、「グラフィック集団」の結成に加わり、大辻清司ら写真家とコラボレートした斬新で実験的な技法を多用した表現が目立ちました。生誕100年を記念する本展覧会では浜田浜雄の戦後デザインの仕事を中心に、その多彩な造形世界の魅力を紹介します。



「スター・オブチカル・カンパニー」1940年

◆ギャラリートーク

毎回14:00～

12/5(土)、1/16(土)

いずれも要企画展入館料、申し込みは不要。

企画展

「上杉家の古写真」

2016年2月6日(土)～3月21日(月・祝)

休館日: 毎週月曜日(祝日の場合翌日)

一般 200(160)円 高大生 100(80)円 小中生 50(40)円

上杉家伝来の写真やアルバム類を整理・調査し、その成果を展示します。従来知られていなかった初公開の写真も多数含まれます。その内容は幕末から昭和初期まで、大名・伯爵として活躍した上杉家当主とその家族を中心に、華麗な縁戚関係、米沢の建物や行事、刀剣・甲冑・絵画・古文書といった宝物、沖縄やヨーロッパの風景など多岐にわたります。



写真乾板 京都所司代邸の上杉茂憲(左) 慶応2年(1866)

- ◆ギャラリートーク(学芸員による展示解説) 毎回14:00～
2/6(土)「展覧会のみどころ」
2/20(土)「明治を生きた上杉家の女たち」
3/12(土)「写真に見る上杉家と米沢」
いずれも要企画展入館料、申し込みは不要。

常設展示室 上杉文華館

年間テーマ 国宝「上杉家文書」にみる幕末の米沢藩

国宝「上杉家文書」を中心に毎月展示資料を入れ替えながら、幕末の動乱期における米沢藩の動向をご紹介します。国宝の「上杉本洛外図屏風」(複製)も常時展示しております。



在邑大広間席大坂召状写 (慶応3年・1867)

- ◇京都を守る 9/25(金)～10/27(火)
- ◇幕府と朝廷の間で 10/29(木)～11/24(火)
- ◇幕府の要請 11/26(木)～12/20(日)
- ◇戊辰戦争と奥羽列藩同盟 12/22(火)～1/24(日)
- ◇戊辰戦争の終結 1/26(火)～2/28(日)
- ◇明治政府のもとで 3/1(火)～3/27(日)

※コレクショントーク(展示解説)
の日程は8ページ参照

刀剣特別展示

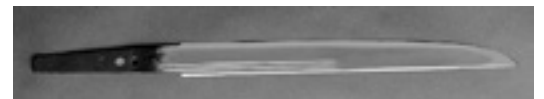
「五虎退」・「姫鶴一文字」

短刀 銘 吉光(号 五虎退、個人蔵)と重要文化財 太刀 銘 一(号 姫鶴一文字、米沢市上杉博物館蔵)を期間限定で展示します。刀剣ブームで話題の名品を、この機会にお見逃しなく。

◆展示期間

「五虎退」 9月1日(火)～10月27日(火)

「姫鶴一文字」9月25日(金)～10月27日(火)



短刀 銘 吉光(号 五虎退)

Play Shop

プレイショップ 体験学習室で毎日造形プログラム開催

10-11月 すてきなデカルコマニー

12- 1月 椅子のデザイン

くねくねモールでクリスマスツリー &
お正月をかざろう

2-3月 紙粘土でつくる春の和菓子

※申し込み不要ですが、団体でのご利用は事前にご連絡ください。
※詳細なスケジュールはHPでご確認ください。
※ワークショップ等のイベントのある日はお休みにになります。

手で見えるギャラリー

デザイナーズチェアをたのしもう

11月28日(土)～12月24日(木)

協力：山形大学地域教育文化学部

今年もあの名作椅子がやってきます！



Work Shop

ワークショップ

秋冬はアートな
ものづくり

制作 10月17日(土)10:00～16:00

ガラス絵具でつくる
スタンドグラス高校生以上20名
参加費500円
募集開始9/15(火)

11月1日(日)10:00～16:00

ムーミンの

クリスマスグリーティングカードづくり

11月15日(日)10:00～16:00

北欧クラフト

切り絵のモビール

それぞれ
中学生以上20名
参加費500円
募集開始10/6(火)

鑑賞

12月18日(金)19:00～21:00

ナイトツアー ようこそ夜の博物館へ
浜田浜雄のアートデザインどなたでも20名
参加費500円
募集開始11/17(火)出前授業・ミュージアムスクール
などの事例はHPに掲載しています。
お気軽にご相談ください。

問合：
教育普及担当
0238-26-8001

収蔵品

学芸ノートから

「広告デザイン <沖正宗>のためのカット」

はま だ はま お
浜田浜雄

浜田浜雄（1915～1994／大正4～平成6）は、シュルレアリスム（超現実主義）の画家としての戦前の活動から、戦後はデザインの仕事へと軸足を移します。特に1950年代以降多くのデザインの仕事を手掛けました。イラストレーション、オブジェと写真の特殊技術を組み合わせた構成作品、写真家とのコラボレーションなど、その内容は多岐に渡ります。

中でも軽妙な線を駆使した漫画的なイラストによる「沖正宗」の広告カットはその斬新なセンスが広告業界で高く評価されました。浜田は、広告に対してユーモアやパロディ、都会的な洗練さを常に意識していたといえます。また「酒」という一つのキーワードからの柔軟な発想、想像力とそれを造形化するための技量は、デザイナーとしての浜田の才能を物語っています。当時としては異色の「広告らしからぬ広告」は、それゆえに注目を集めることになりました。様々な外的要求や制約を強いられる広告の仕事に対して「全く抵抗がないわけではなかった」と語る浜田ですが、広告欄という小さなスペースに独自の世界を作り上げることに成功しています。



<沖正宗>のためのカット原稿控え。主に1950年代新聞、雑誌に掲載されたもの。



※紹介した資料は、企画展「生誕100年 浜田浜雄展」にて展示します。

ホール催事案内 (10月~3月) ▼

- ★ 伝国の杜ファンクラブ会員割引あり
- ☆ 伝国の杜ファンクラブ会員先行予約あり
- ◎ 有料託児サービスあり (事前申込制)
- 未就学児入場可

伝国の杜新春寄席 林家木久蔵 & 三遊亭王楽 二人会

2016/1/9(土) ★☆☆◎
13:30開場/14:00開演



林家木久蔵



三遊亭王楽

ticket

全席指定 2,500円 (当日500円増)

※未就学児は入場不可

伝国の杜FC会員先行予約期間 10/21(水)~25(日)

一般発売開始日 10/29(木)~

プレイガイド D、O、E、K

人気テレビ番組、「笑点」の大喜利コーナーでおなじみのベテラン落語家、林家木久蔵と三遊亭好楽。この2人の笑いのDNAを受け継いだ若手落語家、二代目林家木久蔵と三遊亭王楽が米沢にやってきます。

2015年は、木久蔵師匠の落語家生活20周年を迎えた記念の年であり、また、2016年は王楽師匠の落語家生活15周年を迎える記念の年です。今一番乗りに乗っている若手落語家の2人です。

父、木久蔵ゆずりの飄々とした語り口で、テレビの中でも活

躍中の木久蔵師匠に、2008年のNHK新人演芸大賞落語部門で見事大賞をとった王楽師匠。

「笑点」の演芸コーナー、若手大喜利で丁々発止のやりとりをしているかたわら、日々自らの話芸・笑芸に精進を重ねている2人の落語を是非、聴きにきて下さい。

また、今回は、若手落語家とともに大喜利も開催し、皆さまをいっそう笑いの渦にまきこみます。

おきたまの秋空に響け!

吹奏楽の日コンサート2015

10/4(日) ○
10:00開演予定

主催: (公財)米沢上杉文化振興財団・米沢市教育委員会・置賜文化フォーラム・置賜地区吹奏楽連盟

毎年好評の“置賜版”吹奏楽の日コンサートは、ホールとピロティで2会場同時に進行。今年も置賜各地から16団体が出演します。吹奏楽に浸る一日をお過ごしください。



《プログラム・タイムテーブル》
9月下旬にHP・Facebook等で発表



過去の公演から

《演奏団体》

米沢一中、二中、三中、四中、五中、六中、七中、川西中、米沢市中学3年合同バンド、置賜地区高校合同バンド(興譲館・米工・置農)、置賜地区高校合同バンド(米東・南陽・九里学園)、山工工学部・米沢女子短大吹奏楽団、アンサンブル・プルブル、KTYウィンドアンサンブル、米沢吹奏楽愛好会、リブレイヴ・サクソフォン・クワルテット、おきたまシンフォニックサウンド倶楽部

Jazz Café Live

10/7(水) 11/4(水) ★☆☆◎
18:30開場/19:00開演

館内の人気スポット、ミュージアムカフェ Cultureでのジャズライブ。東北で活躍する女性ジャズプレイヤーが登場。



菊池由梨



斎藤 葵

10/7(水) 19:00開演

大村武司トリオ & 菊池由梨

菊池由梨(Fl) 大村武司(Pf) 青木大志(Bs) 岸川雅裕(Ds)

11/4(水) 19:00開演

斎藤葵 & EIM

斎藤葵(Vo) 江浪純子(Pf) 岩谷真(Bs) 三浦達志(Ds)

ticket

全席自由 各回100席限定

前売1,000円 当日1,200円 (1ドリンクつき)

2回セット券1,600円 (10/6(火)まで取扱い)

伝国の杜で発売中

ticket

チケット購入方法

(1)伝国の杜で

◇土・日・祝日を含め開館日の9時から17時まで取り扱いをしております。

発売初日も9時からご購入いただけます。

◇事務室での購入か、電話予約が可能です。予約後は1週間以内に事務室で引換をするか、郵便振替をお願いします。

(2)プレイガイドで

◇公演ごとに決められたプレイガイドで、各店舗の営業時間内に取り扱い窓口でご購入いただけます。

◇主催者の都合により販売期間内にプレイガイドでの取り扱いを終了する場合がありますので、予めご了承ください。

※購入後は主催者の都合で公演が中止となる場合を除き、払い戻しできませんのでご注意ください。

託児サービス

観たい公演をあきらめなくてもいいサービスがあります

お子さま連れでも安心♪
ぜひご利用ください!



■ 利用料 1,000円

■ 対象 6か月以上から
小学校入学前まで

※要事前申し込み

◎のある催事で利用可能

永井愛 作・演出 二兎社「書く女」

2016/2/9(火) ★☆☆
18:00開場/18:30開演

平成27年度文化庁劇場・音楽堂等
活性化事業



黒木 華



平 岳大



木野 花

日本初の女性職業作家として有名な樋口一葉の半生を舞台化。小説の師匠である半井桃水との恋模様や、青年文士たちとの文学談義、母からの期待とプレッシャー。貧しくとも創作意欲を失わなかった一葉の人物像を永井愛の脚本・演出により表現します。

2006年の初演で大好評だった二兎社の演劇「書く女」がキャストを変更して再演されます。

今回の樋口一葉役は黒木華。映画『小さいうち』への出演

や『おおかみこどもの雨と雪』などで声優としても活躍している大注目の若手女優です。また、一葉の小説の師であり、一葉が恋焦がれる男性である半井桃水には大河ドラマなどでその演技が好評の平岳大。一葉の母には、連続テレビ小説『あまちゃん』で存在感あふれる演技をした木野花が扮します。

また、今回はピアニスト林正樹氏の生演奏が舞台をより鮮やかに彩ります。

ticket!

全席指定 6,000円

※未就学児は入場不可

伝国の杜FC会員先行予約期間

11/11(水)~15(日)

一般発売開始日 11/19(木)~

プレイガイド D、O、E、K

親子でたのしむ音楽会

2016/3/6(日) ☆○
13:30開場/14:00開演

クラシック音楽の入門編として、親子で音楽会デビューしてみませんか。

誰もが知ってるフレーズ♪ダダダダーン！でお馴染み、ベートーヴェンの交響曲第5番《運命》第一楽章をはじめ、どこかで聴いたことのあるクラシックの名曲や、子どもたちに人気の曲などをオーケストラの生演奏で楽しむことができます。

さらに、米沢出身でプロとして活躍中の片平成美率いるバレエダンサーたちが華麗にステージを盛り上げます。

出演：伝国の杜オーケストラ（県立米沢東高等学校音楽部弦楽班、山形大学工学部・米沢女子短期大学アカデミースtrings合奏団、米沢フィルハーモニー管弦楽団、ほか置賜地区の有志）、竹谷智（指揮）、片平成美、春風まこ、大門彩美、鈴木結花（以上バレエ）

ticket!

全席自由 前売：一般500円

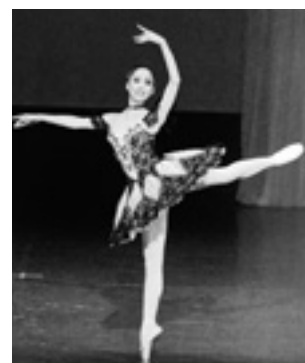
中学生以下無料(要整理券)

保護者の膝上で鑑賞する幼児は整理券不要

1/28(木)から伝国の杜ほかで発売予定



伝国の杜オーケストラ



クラシックバレエ



片平成美



鈴木結花



大門彩美



春風まこ

こども狂言クラブ

置賜文化ホールでは、地域にゆかりある日本の伝統文化「能楽」を継承していくため、こども狂言の稽古、発表に取り組んでいます。小中高生が能舞台での所作を身につけ、狂言独特の発声を学ぶため、和泉流萬狂言の一門による指導のもと、一年を通して活動をしています。

平成27年度 後期活動計画

10月10日 置賜こども芸術祭 in 南陽

2月13日 上杉雪灯籠まつり 雪に舞う会

11月8日 第三回「酒田の狂言」出演

3月21日 こども狂言クラブ春休み発表会

12月中旬 稽古おさめ会



■4月26日(日)
特別展「国持大名上杉家」
講演会

共立女子大学教授の堀新氏に、「米沢藩上杉氏の官位と家格」と題してご講演いただきました。新たな視点から江戸時代における上杉家の位置や役割を知る機会となりました。



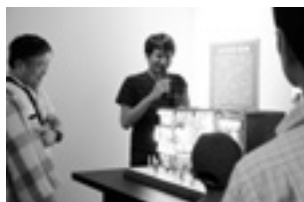
■5月17日(日)
風の香狂言会 in 置賜

和泉流狂言師、野村万蔵氏と一門を招き、狂言「仏師」、「棒縛」を鑑賞しました。学生からご年配の方まで様々な人が日本の伝統芸能の奥深さを体感しました。



■7月25日(土)、26日(日)
「昭和幻風景 山本高樹ジオラマ展」
ギャラリートーク&サイン会

展覧会のオープニングにあわせ造形作家の山本高樹氏による展示解説と、図録購入者向けのサイン会を実施。山本氏のキャリアや、模型制作の裏話などをお話いただきました。



■6月27日(土)
奇跡の歌姫「渡辺はま子」

女優、五大路子氏主演の演劇を上演。フィリピンの戦犯捕虜を救った歌手「渡辺はま子」の物語を通して、平和の尊さを感じる1日となりました。



そばの花が咲きました

伝国の杜の前の広場では、訪れた皆さまに楽しんでいただくために、春はパンジー、秋は日々草を植えています。色とりどりの花を楽しそうに眺めている光景が、毎年ひろがっていました。しかし、夏の間は花が無く少しさびしい広場となっていました。

そこで、南原のそば農家の方のご協力を頂き、「出羽かおり」という名前のそばの種をまくことにしました。農家の方の指導をいただきながら、職員が丹精込めて育てたそば。8月の中ごろに見事きれいな花が咲きました。

小さくてかわいらしい白い花の風景に、8月の暑い時期に伝国の杜を訪れた皆さまからも大変好評をいただきました。

そば成長日記

7/22、そばの種をまきました。炎天下にも負けず、成長していきます。



7/25 芽がでてきました



7/31 ぐんぐん育って...



8/13 花が咲きました

でんもりバックヤード

Back Yard

伝国の杜のさまざまな
ひみつを紹介します。

【大型プリンタ】

博物館の展示パネルや、ホールでのイベントの看板など、伝国の杜では大きな印刷物を作る機会がたくさんあります。そのために大活躍するのが、事務室奥にある大型プリンタです。幅1m、長さ2m以上のものも印刷できます。

特に展示のオープン前はフル稼働。見栄えよく、効果的なパネルを製作するための、心強い機械です。



動作中の大型プリンタ

■ミュージアムショップから

New 米織小紋の丸型がま口
Lineup 巾着・フラットバッグ

「米織小紋ブックカバー」に、新たなアイテムが仲間入り。

コロんとしたフォルムがかわいらしい「丸型がま口」、内ポケット付きで使い勝手◎の「巾着」、バックインバックとしても使える小ぶりな「フラットバッグ」の3アイテムです。

同色パターンで複数アイテムをコーディネートしてもよし、あえて色違いで合わせてもおしゃれですよ！

- ・丸型がま口
(1,620円)
- ・巾着
(1,296円)
- ・フラットバッグ
(2,160円)

※税込価格



通信販売はネットショップで
<http://uesugi-museum.jp>

モールの 作品展示予定

Uesugi Museum Art Collection

総合案内内では、当館アートコレクションを定期的に入れ替えながら展示しています。ご来館の際は足をとめてご覧ください。

8月27日～11月24日

「旧大町郵便局」 鈴木晋
「米沢銀座靴店跡」 鈴木晋
「青の静物」 後藤克芳

11月26日～1月24日

「レダ」 三雲祥之助
「untitled」 瑛九
「赤い屋根の家(旧興望館)」 鈴木晋

1月26日～3月27日

「さいはての湖」 遠藤桑珠
「山湖」 福王寺法林

*合わせて館長室の作品も入れ替えています。
*展示作品は都合により変更になる場合があります。

サポーター

伝国の杜では、博物館やホール等の機能をいかした事業を開催し通年で数多くの利用者を迎えています。伝国の杜サポーターは、ともに歩む協働の館づくりをめざして、以下の様々な活動をしています。

■インフォメーション

学習や旅行など来館者の目的に沿って館内の誘導をしたり各種催事の内容、周辺の町歩きなどの相談に応じます。主に博物館やホールが混雑する土日、祝日の活動です。

■レセプションリスト

ホール主催の公演で、非日常の空間での舞台芸術公演を楽しむに訪れるお客様を誘導します。公演を生で見られるメリットも！主に平日夜間、土日、祝日の活動です。

■教育普及

体験学習室で各種ワークショップなど博物館の教育プログラムを通し、子どもたちの感性の成長をサポートしています。主に土日祝、学校休暇中の昼間の活動です。

今年度非公算の活動

■MAT美術教員の会 ■米沢とんと昔の会

まずは一つから活動を始めませんか？活動に興味がある方はお気軽にご参加ください。

広げよう 文化ボランティアの輪

お問合せ 26-8000 (サポーター担当)



「展覧会をもう一度ゆっくり見たい」
「ホール公演をよい席でみたい」
「いろいろな情報がほしい」
「ミュージアムショップやカフェをお得に利用したい」

そんなあなたに

伝国の杜
ファンクラブ

があります！

平成27年度
会員募集中

会員特典

- ・会員証の提示で米沢市上杉博物館の常設展示室・企画展示室に何度でも入館（同伴者1人は団体割引）
- ・置賜文化ホール自主事業チケットの先行予約・割引販売（会員1人につき2枚まで・一部公演のぞく）
- ・「伝国の杜だより」、事業ちらし、ファンクラブ会報の送付（年5回程度）
- ・ファンクラブ会員向けの講座・イベントへの参加（年2回程度）
- ・ミュージアムショップで展覧会図録・オリジナル商品10%割引
- ・ミュージアムカフェでの10%割引（同伴者3人まで）
- ・募集制ワークショップに1回無料で参加

（年会費） 会員期間は、4月1日～翌年の3月末日までです。

☐ 一般会員	2,500円
☐ 学生会員	1,000円
☐ ジュニア会員	500円

10月1日以降入会の場合、年会費は半額になります。



座の文化伝承館からのお知らせ

座って楽しむ
ちいさなステージ
蔵で一席！落語の会

10月11日(日)
第1回公演 13:00開演
第2回公演 15:00開演
協力：落語長屋

毎年、多くの大会にも出場している実力派ぞろいの市民落語家の集まり、「落語長屋」の協力のもと、座の文化伝承館・蔵の2階にて落語会を開催します。

木造家屋の空間で開かれる落語会は、昔の寄席の雰囲気が楽しめます。秋の訪れが感じられるひと時、皆さまに笑顔を提供します。

入場無料（定員各回30名：9月3日(木)より整理券配布開始）
配布場所：伝国の杜・座の文化伝承館・市役所総合案内



立花亭小道



田舎家鯉志

開催報告

第25回 市民茶会
6月21日(日)

参加者 221名
協力：米沢茶道連合会

「茶の湯」を通して伝統文化に親しむことを目的に恒例の市民茶会が開かれました。米沢茶道連合会会員が、点前を披露したり、床飾りや茶道具を解説したりと、訪れた方々をおもてなし。庭内にある茶室「静山庵」では、本格的に席入りの流れを体験しました。高温多湿の日でしたが、温められた茶碗に熱い抹茶がかえって美味しく感じられ、菓子の味わいとともに参加者を魅了していました。



ぜひご利用ください

座の文化伝承館は上杉家の旧宅を米沢市が譲り受け、和風文化の活動にあわせて改造した建物です。展覧会や琴・謡・俳句・お話会など様々な目的で利用されています（有料）。

6畳、12畳の和室と別棟の茶室などがあります。上杉神社の近くに位置し、静かで落ち着いた雰囲気が人気です。

住所 米沢市丸の内一丁目3-48
電話 0238-23-8009 火曜休館



美しい庭を眺められる和室も



蔵での展示も趣深い

展覧会

教育普及事業

ホール

G: ギャラリートーク C: コレクショントーク 講: 講演会・講座
(企画展示室展示解説) (常設展示室展示解説)

□: プレイショップ(申込不要)

■: 募集制ワークショップ
(要事前申込)

伝国の杜子ども狂言クラブ

毎月2回の稽古風景も公開中
詳しくはお問合せください

10/4日 10:00 開演予定
おきたまの秋空に響け!!
吹奏楽の日コンサート2015

10/10(土)
子ども狂言クラブ発表
置賜子ども芸術祭2015in南陽

10/7(水) 19:00 開演
11/4(水) 19:00 開演
Jazz Café Live

11/8(日)
子ども狂言クラブ発表
第三回「酒田の狂言」

1/9(土) 14:00 開演
伝国の杜新春寄席

2/9(火) 18:30 開演
二兎社「書く女」

2/13(土) 13:00 開演
子ども狂言クラブ発表
上杉雪灯籠まつり雪に舞う会

3/6(日) 14:00 開演
親子でたのしむ音楽会

3/21(月・祝) 14:00 開演
子ども狂言クラブ春休み発表会

□9/26~11/26
すてきなデカルコマニー

■10/10(土)13:30~16:00
羊毛フェルトでぶち
&はなをつくろう

■10/17(土)10:00~16:00
ガラス絵具でつくる
スタンドグラス

■11/1(日)10:00~16:00
ムーミンのクリスマス
グリーティングカード

■11/15(日)10:00~16:00
北欧クラフト
切り絵のモバイル

□11/28~1/21
くねくねモールド
クリスマスツリー&
お正月かざりをつくろう

■12/18(金)19:00~21:00
ナイトツアー
浜田浜雄のアートデザイン

□1/23~3/24
紙ねんどでつくる
春の和菓子

◆利用案内◆

*休館日等は管理の都合上変更する場合がありますので詳細はお問合せ下さい。

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1
0238-26-8000(代(公財)米沢上杉文化振興財団)
0238-26-2660(FAX)
0238-26-8001(米沢市上杉博物館)
0238-26-2666(置賜文化ホール/チケット・施設利用)
ホームページ <http://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp>
ブログ <http://samidare.jp/denkoku>

(公財)米沢上杉文化振興財団ホームページ
<http://uesugizaidan.or.jp/>



博物館開館時間: 9:00~17:00(入館は16:30まで)
博物館休館日: 4月~11月 第4水曜日(休日の場合その直後の平日)
12月~3月 毎週月曜日(休日の場合その直後の平日)
年末(今年度は12/26~12/31)
※年始 1/1~1/3は休まず開館します。
ホール休館日: 毎週月曜日/年末年始(休日の場合その直後の平日)
博物館入館料: 常設展 一般410(320) 高大生200(150) 小中生100(60)
()は20名以上の団体料金 ※特別展・企画展は別途
※特別展開催期間は常設・企画一体型料金のため異なります。

「伝国の杜」の「伝国」という言葉は、米沢藩9代藩主上杉鷹山が天明5年(1785)上杉治広に家督を譲る際に藩主の心得として与えた「伝国の辞」に由来するものです。

10

企画展示室
9/19(土)
↓
11/23(月・祝)

前期: 9/19(土)~10/18(日)
後期: 10/24(土)~11/23(月・祝)
※展示替: 10/19(月)~10/23(金)
※休館日: 9/24(木)、10/28(水)

11/3(火・祝)
東北文化の日
入館無料

講 毎回14:00~16:00

9/19(土) 織田毅氏(シーボルト記念館館長)
「シーボルトと伊東昇迪」
11/7(土) 海原亮氏(住友史料館主任研究員)
「好生堂と米沢藩の医学教育」

G 毎回14:00~

10/10(土)「上杉鷹山の医学奨励」
10/17(土)「堀内素堂『幼幼精義』の出版」
10/24(土)「天然痘との闘い」
11/14(土)「米沢藩、医学の興隆」

企画展
12/5(土)
↓
1/24(日)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合翌日)
12/26(土)~12/31(木)
※1/1(金)~1/3(日)は開館

ギャラリートーク
12/5(土)14:00 ~ 1/16(土)14:00 ~

企画展
2/6(土)
↓
3/21(月・祝)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合翌日)
ギャラリートーク 毎回14:00 ~

2/6(土)「展覧会のみどころ」
2/20(土)「明治を生きた上杉家の女たち」
3/12(土)「写真に見る上杉家と米沢」

常設展示室
上杉文華館
◇テーマ

9/1~10/27
刀剣特別展示

9/25~10/27
◇京都を守る
C 9/26(土)

10/29~11/24
◇幕府と
朝廷の間で
C 10/31(土)

11/26~12/20
◇幕府の要請
C 11/28(土)

12/22~1/24
◇戊辰戦争と
奥羽列藩同盟
C 12/23(水・祝)

1/26~2/28
◇戊辰戦争の
終結
C 1/30(土)

3/1~3/27
◇明治政府の
もとで
C 3/5(土)

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」

室町時代 狩野永徳筆
(部分: 右隻第六扇)

いまみちたうげ

山間を歩く二人の
上に「いまみちたう
げ」の文字。これは
内裏の東、現在の荒
神口から白川(京都
市)を経て坂本(滋
賀県大津市)へ至る、
今道越と呼ばれた街
道(山中越、志賀の
山越)にあった峠と
みられます。その麓
には、荷を背負った
人々が進む「白川」
が描かれています。



越後の特産青苔は坂本を経て、今道越を使って京都に運ばれました。永禄2年(1559)、坂本を上洛時の拠点とした上杉謙信は、京都との往来にこの今道峠を越えたと推測されます。この峠道は、古代以来、越後を含む北陸地方と京都を結ぶ主要街道であったとされます。